



老若も
集い憩った
郷の学び舎

〈遊歩一景〉

坪生
学区

坪生公民館北側の丘に、小学校跡地と記した石碑があります。坪生小学校は、1871年（明治4年）に医師の窪田次郎が教育の普及を目指し村々に設立した啓蒙所として開校。1908年（明治41年）には、狭い盆地ゆえ農地を避けてこの丘に移りました。また、高等科や中学校を併設、社会教育家の山本瀧之助が青年教育の場として提唱した実業補習学校も併設されるなど、幅広い年齢層が通う学び舎になりました。

戦後は、映画上映会や運動会などの行事が催され、地域住民が集う憩いの場所になりました。公共施設が少なかった時代に、学校は地域にとって大切な文化と憩いの中心地になったのです。

1960年代に、日本鋼管福山製鉄所が開所し児童数が一気に増えたため1975年（昭和50年）に現在の場所へ移りました。

丘の上には、門柱や塀など、かつての面影が今も残っており、当時集った人には、懐かしい思い出が詰まった場所になっています。



東部いれこみ情報 学習情報 No.254

2022年(令和4年)11月1日 11月号

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カラーは 福山市東部地域振興課

ホームページで検索 ・ QRコード



東部人権問題講演会

<< トーク&ライブ >>

「沖縄復帰50年」

～これまでの歩み これからの歩み～

●出演 三線奏者

我喜屋 信雄 さん

●日時 **12月17日(土)**

開場 13時30分 開演 14時

●会場 **伊勢丘交流館 & ZOOMで配信します**

●会場定員 50人

●申込みが必要です

●申込み・お問合せ先

東部地域振興課

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール：toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

●会場でパネル展示を行います

桜坂ギャラクシー 企画展

なくそう！子どもの虐待

●期間 **11月7日(月)**
～11月30日(水)

●場所 **東部市民センター**
2階 ロビー

家庭で繰り返し行われる虐待は、子どもに対する重大な人権侵害であり、最悪の場合、命を奪ってしまうこともあります。

たとえ、「しつけ」のつもりであっても、それが子どもにとって著しく苦痛であれば、虐待にあたります。

子育て家庭を応援しながら、体罰等のない社会を実現するために何ができるか一緒に考えましょう！

主催・問合せ先 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658



“地域をつなぐまちづくり” 紹介



ふれあい祭り(大谷台学区まちづくり推進委員会)

10月16日大谷台中央公園で、大谷学区ふれあい祭りが3年ぶりに開催されました。中学校の吹奏楽部やサークルの発表の場、地域の方が集う場を何とかしてつくりたいと、コロナ対策や運営方法について何度も会議を重ね実施することとなりました。

ステージでは、歌や演奏、ダンスなど12団体の出演があり、食べ物はキッチンカーで販売し、花の苗や手芸品など食べ物以外は地域の方の出店があり、多くの参加者で賑わいました。

大谷台学区まちづくり推進委員会では、昨年10月からツイッターを始められており、この行事についても、前日準備から当日の様子まで掲載されていました。

最近地域活動に参加され始めた方は、「いろいろな世代、多様性がより良い効果を生むような気がします。ベテランの経験と若手の推進力で引き続き行事参画を進めます」と話されていました。



ツイッターの投稿写真から

「“身近にある優しい工夫を探そう” 写真展」を開催しました



写真展の様子(左)と存在を知らせるヘルプマーク(右)

10月8日から30日まで、東部市民センター2階のロビーで「“身近にある優しい工夫を探そう” 写真展」を開催しました。これは、福山市障がい者基幹相談センターが写真コンテスト「ふくやま『ローズマインド』～思いやり・優しさ・助け合いの心～」2021で募集したも

ので、今回は入選作品をお借りしました。

人に優しい工夫がたくさん

作品は、点字ブロックやピクトグラムなど身近な設備や物品・表示などです。どれも見覚えのある物ばかりで、人に優しい工夫がたくさんあることがわかります。

意味を理解することが大切

作品の中に、周囲に理解を求める「ヘルプマーク」の写真がありました。これは、外見では判りにくい障がいや病気があることを知らせるもので、身に付けることで、人との接触を避け転倒などの事故を防ぎます。しかし周囲の人がマークの意味を知らなければ効果を得ることができません。

みんなでその意味を理解して見守れるようになることができればと思います。

東部管内イベント・講座情報

*参加される際は、マスクの着用、手洗い(消毒)、検温、連絡先の記入等にご協力をお願いします。
*新型コロナウイルス感染症の感染状況により、延期または中止となる場合があります。
*詳細については、それぞれの問い合わせ先までお願いします。

伊勢丘交流館

社会教育活動事業

子育て支援講座

「あかちゃんとママの部屋」

【日時】11月30日(水)10時~11時30分

【講師】西田三佳子さん・西田啓子さん
吉田雅美さん

(ふくやま地域助産師の会「となりのSANBA」)

【内容】ふれあうことの大切さを助産師さんと学んで楽しく過ごしましょう。

【定員】10組(先着順)

【持参物】バスタオル1枚、飲み物、おでかけグッズ、お気に入りのおもちゃ

【会場・申込み・問い合わせ先】伊勢丘交流館 084-947-0511

人生100年時代の若返り塾④

ハングル筆文字講座

~おとなりの国「韓国」を学ぶ~

【日時】12月14日(水)10時~12時

【講師】加藤弘美さん(ハングルカリグラフィー
하나「はな」主宰)

【内容】韓国語と伝統衣装について学びます。
折り紙で「チマチョゴリ」韓国書芸で
かわいい飾りを作ります。

【定員】15人(先着順)

【材料費】300円

【持参物】のり、はさみ、お持ちの方は筆ペン、
飲み物

大津野学区・野々浜学区・春日コミュニティ館 まちづくり協働事業

要約筆記あり

ハミガキをするように社会のことを考えよう ~原発事故とコロナと、社会と未来と~

おしどり マコ&ケン
トークライブ

12月11日(日)14時~15時30分

【会場】大津野小学校 体育館(定員 180人 先着順)

【サテライト会場】野々浜公民館(定員 30人 先着順)

【問合せ・申込み先】

大門公民館 Tel084-943-4252

野々浜公民館 Tel084-943-9412

春日コミュニティ館 Tel084-943-2531



東部図書館からのお知らせ

サロンコンサート

【日時】11月29日(火)

14時~14時30分

【場所】東部図書館 2階集会室

【内容】しの笛の演奏

【出演】サークルしおん

【定員】30人(当日先着)

【申込み・問い合わせ先】東部図書館



展示「ドキドキワクワク 土木土木wakuwaku!

けんせつってどんなしごと?」

【日時】11月16日(水)~12月19日(月)

【場所】東部図書館 1階フロア

【内容】建設重機や土木建造物、
建物に関するパネル展示。
はたらく車のミニカーも
展示します。



084-940-2575

「福山市人権尊重のまちづくり条例」ができました その7

●●ふくやま人権大学 受講生募集●●

●12月1日(木)

- ・テーマ 「こうしてできた人権条例」
～新たなステージへ～
- ・講師 客本 牧子さん (福山市人権施策有識者検討会議委員)
(中国帰国者をささえる会代表)

●12月8日(木)

- ・テーマ 「こんなことやってます。私の活動」
～多文化共生・子どもの人権～
- ・講師 客本 牧子さん
寺田 由美香さん (主任児童委員)
(城西校区おっちゃんとおばちゃんの会役員)

●12月15日(木)

- ・テーマ 「ところで、人権文化って何だ？」
～ふだん着で考える条例の活かし方～
- ・講師 客本 牧子さん

- 時間 19時～20時30分 ●定員 各回30人
- 会場 福山市人権平和資料館 (福山市丸の内町一丁目1-1)
- 手話通訳、要約筆記が必要な場合は事前にご相談ください。
- 主催・問合せ・申込 人権・生涯学習課 ●ホームページ⇒
- ☎ 084-928-1006 FAX 084-928-1229

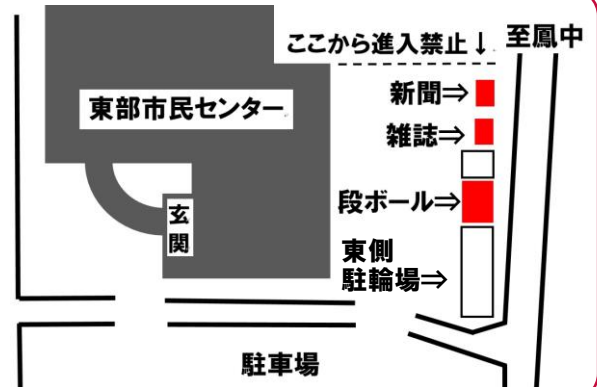


福山市人権尊重のまちづくり条例1周年
 心がつながる人権文化ゼミ
 とところで、人権文化って何だ？

＜東部支所からのお知らせ＞

古紙の回収場所と利用可能日・時間が変わりました

- 利用可能日 月曜日から金曜日の開庁日
- 利用時間 9時～17時
- 回収場所 東部市民センター東側駐輪場横 ⇒⇒⇒
- お問合せ 東部環境センター
電話 084-940-2573



あ〜ぞのぞ〜ホメテ

11月27日に、福山市総合防災訓練が実施されます。この訓練は「南海トラフ地震」を想定した全市一斉の防災訓練で、毎年11月の第4日曜日に行っています。今年度も、緊急速報メールの合図により、身を守る「シェイクアウト訓練」をはじめ「避難訓練」などが行われる予定です。

私は、災害に対する備えは日頃から必要であると痛感した経験があります。4年前の西日本豪雨の時です。その日、時間の経過とともに雨風が強くなり、午後8時を過ぎたところ、家の前にある、深さが3mほどある川が道路と同じ高さになったと小学生の子どもから電話がありました。すぐさま食べ物と飲み物を持って2階に避難するよう伝え、急いで帰宅したことを思い出します。

その後、我が家は、ペットを迎え、避難グッズにペット用グッズも追加しました。福山市では、ペットも一緒に避難できる場所があり、東部支所もその対象施設です。

近年、全国各地で災害による被害が多く発生しています。「ここは大丈夫!」と思わず、いざという時のために、避難場所までの道や避難時の持ち出し品など、家族や職場などで改めて確認していただきたいと思えます。

